

ローカル認証

地域が創る流通の仕組み 大元鈴子

「ローカル認証」で産地と消費者が結びつく！

地理的に限られた範囲で生産される製品の高い品質を保証し、さらに製品の地域性を消費者まで伝えられる「ローカル認証」。自治体などが制度として運営する認証（有機JASと併用する例を含む）だけでなく、民間の加工・販売企業が地域性を発信している事例も紹介しています。

地域から創れる「中規模の流通」とは？

「ローカル認証」は、食材が地球を駆け巡るようなグローバルな流通と、地元で完結する流通（地産地消）との中間にあたる「中規模の流通」をめざすものです。生産者から少し離れた距離にいる消費者に、食品の地域性を正しく伝え、価値を感じてもらいたい。イメージ戦略による一過性のブランディングでなく、産地で生産方法を厳しく管理し、製品の価値が長続きする仕組みを創り出すヒントがたくさんあります。

序 章 いま、求められる「地域が創る食の流通」



第Ⅰ部 認証制度総論

- 第1章 認証がもつ意味
- 第2章 新たな流通の仕組みとしてのローカル認証

第Ⅱ部 制度としてのローカル認証

- 第3章 問題を価値として縫いあわせるー米国コロンビア川流域の「サーモン・セーフ」
- 第4章 多様な農業を認めあう町ー宮崎県綾町の「自然生態系農業」
- 第5章 農業者が創りだすコウノトリの餌場ー兵庫県豊岡市の「コウノトリの舞」



本体 2000 円＋税 清水弘文堂書房
ISBN978-4-87950-628-3 C0061
2017 年 9 月発行

第Ⅲ部 地域から生産・消費を循環させる食品会社と運動

- 第6章 漁業者へ通信簿を渡す企業ー株式会社井ゲタ竹内によるモズクでサンゴ再生
- 第7章 希少リングの現代的価値を醸造するー株式会社サンクゼールと地域の関係
- 第8章 水産物の地域化の試みースローフィッシュ運動

終 章 地域が創る新しい生産流通の形ーローカル認証の可能性と課題

貴店（帖合）印

ご担当

2000

ISBN978-4-87950-628-3 C0061 ¥2000E

注文数

書名

ローカル認証 地域が創る流通の仕組み

発行所

清水弘文堂書房

著者

大元 鈴子

定価：本体 2000 円＋税